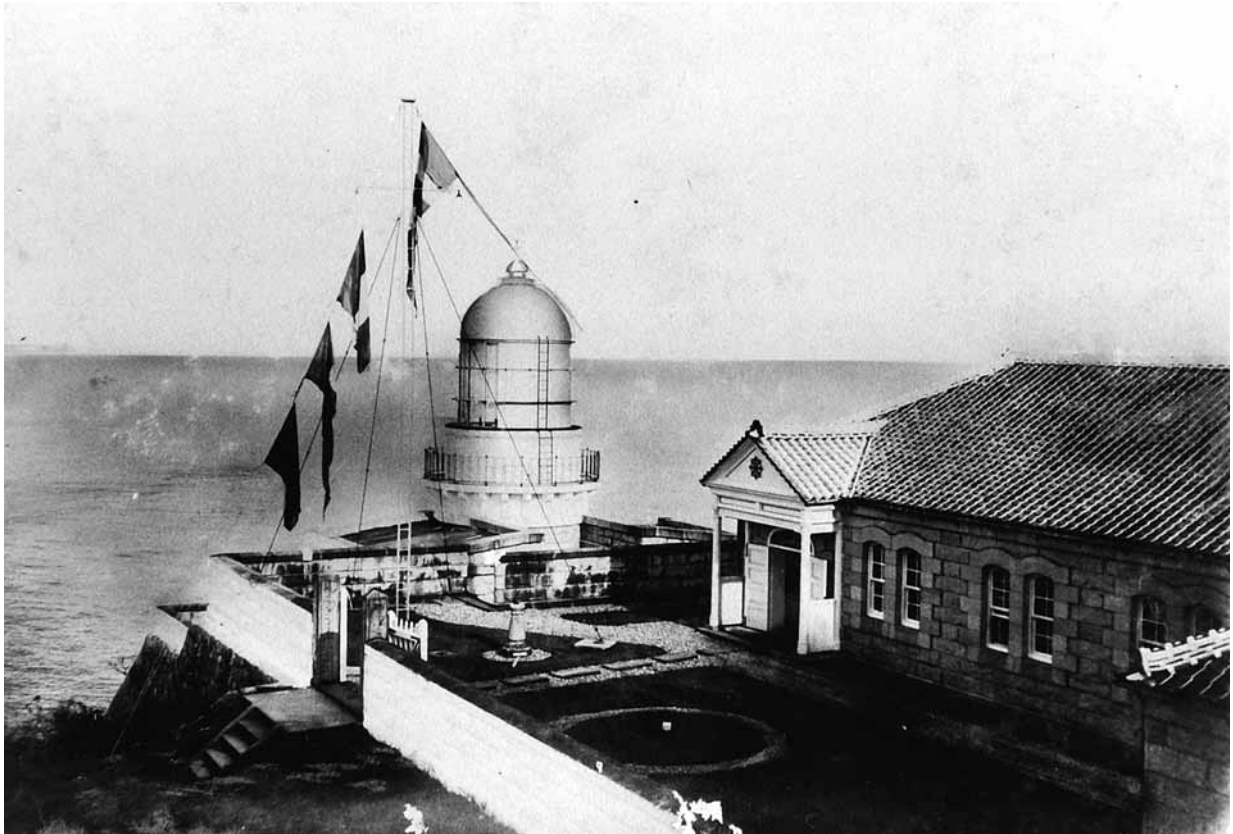


# 総合資料館だより

2007.7.1 No.152



▲経ヶ岬灯台「旧一号書庫写真資料」より

## 経ヶ岬灯台

経ヶ岬灯台は、丹後半島の先端に位置し、京都百景に選ばれた景勝地にある灯台で、千葉県いぬぼろの犬吠埼灯台、高知県の室戸岬灯台とともに、日本三大灯台の1つに数えられています。

明治31(1898)年12月に初点灯し、その後昭和34(1959)年まで人の手によって点灯・消灯されていましたが、現在では無人で運用されています。

駐車場からかなりきつい遊歩道を約400m登ると灯台に着きます。海拔約140mの高さからの眺めは絶景で、はるか沖の鳥が群れ飛ぶ下の海中に、魚群の黒い影を見ることがあります。

この写真は「旧一号書庫写真資料」(京都府が明治初期から大正期にかけて収集した写真資料)の1枚で、『京都府誌』(大正4/1915年)にも掲載されています。

目次	経ヶ岬灯台……………	1	文献課の窓から「条例の探し方《京都の場合》」……	2
	寄贈資料紹介「船屋太兵衛家文書」……	4	歴史資料課の窓から「科研と京都府行政文書」……	5
	最近の収集資料から……………	6	展覧会のお知らせ、古文書解説講座のご案内……	7
	科研公開シンポジウムのご案内、友の会事務局から 他……………	8		

## 条例の探し方 《京都の場合》

### ◇条例を探すには

条例とは「地方公共団体が制定する法形式」で、その内容については通常各自治体の例規集又は、公報に載せられています。

【例規集】自治体の条例や規則等を集めたものです。分野別に配列されていて、50音索引がついているものもあります。最近ホームページで例規集を公開する自治体が多くなりました。当館では加除式・冊子・CD-ROMの形で刊行されているものを利用できます。(表1参照)

【公報】地方自治体が「公示すべき事項を周知させるために発行する機関紙」で、京都府の場合、条例の公布は『京都府公報』に登載して行います。条例の公布日がわかっている場合はこちらの方が早く探せます。『京都府公報』は週2回(火、金)発行されています。

当館では以下の公報を所蔵しています。(欠号があるものもあります。)

京都府公報	第1号(明治31.4)～
京都市公報	大正10.1～平成14.3(以後インターネット版のみ)
城陽市公報	第1号(昭和48.5)～
宇治市公報	第1号(昭和45.4)～
亀岡市公報	第145号(昭和40.1)～
福知山市公報	第222号(昭和38.12)～
綾部市公報	第203号(昭和40.3)～
宮津市公報	第25号(昭和40.1)～
舞鶴市公報	第246号(昭和39.2)～第391号(昭和51.3)

### ◇改正・廃止前の条例を探すには

例規集の条例・規則等には改正の履歴が記載されています。改正の履歴に書かれた日の公報を見ることで改正箇所を確認できます。冊子形態で例規集が発行されている場合は、改正前の年度分を見ることで全文を確認できます。

現行の京都府の例規集(加除式)では、巻末にある年号索引で年別に全改・廃止・失効した

条例を探することができます。他にも京都府の旧例規集として、以下の資料を所蔵しており、発行された時点での条例・規則等がわかります。

- ・『京都府令規全集』 昭和11.3、19.6、23.6  
(昭和11年、23年分は一部のみ所蔵)
- ・『京都府例規全集』 昭和35.7

### ◇明治期の京都府の例規等をまとめたもの

明治期の京都府の条例・規則等をまとめたものとしては以下のものを所蔵しています。(表2参照)

- ・『京都府布令書』 慶応4～明治元, 2, 5, 6, 11年  
『京都府公報』の前身。『京都府公報』の発行以前の条例・規則等を探す場合は、この資料か『京都府府令達要約』で対応できます。
- ・『京都府布達要約』 明治元～19年  
分野別に編年体で収録。但し明治14年2月以前に改廃された布達等は未収録。
- ・『京都府府令達要約』 明治20～30年  
収録は主要なもののみ。明治29、30年は府令・訓示・公示・告示の順に収録。
- ・『京都府令達月報』 明治31年
- ・『京都府令達全書』 明治32～36年

### ◇その他

明治2年頃に京都府が各所へ出した『市中制法』、『市中制法・町役心得條目』、『郡中制法』、『社家制法』、『村庄屋心得條目』、『戸籍仕法書写』等の資料も所蔵しています。

### 《参考文献》

- 『法令用語辞典』 高辻正己[ほか]編 1997年 学陽書房刊 (320.33/H87)
- 『京都府立総合資料館所蔵文書解題 改訂増補』 京都府立総合資料館編刊 1993年 (K0/216.2/Ky6)
- 『明治文化史 第11巻』 開国百年記念文化事業会編 1955年 洋々社刊 (210.6/Ka21/11)
- 『京都府警察史 第2巻』 京都府警察史編集委員会編 1975年 京都府警察本部分刊 (MK0/317.7/Ky6/2)

表1 資料館所蔵の京都府及び府内各市町村例規集一覧（H19.6.4現在）

地理区分	京都府及び府内市町村	冊子体 ○は冊子形態、◎は加除式	CD-ROM版 (閲覧端末に搭載分)	備考	《参考》ホームページで 閲覧できるもの
0	京都府	◎	H18.10.24 現在		H18.10.24 現在
1	京都市	◎	H18.11.1 現在		H19.1.1 現在
241	向日市	◎	H17.1.1 現在		H19.4.1 現在
242	長岡京市	◎	H13.12.28 現在		H19.4.1 現在
243	大山崎町	◎	H13.1.1 現在		
25-1	宇治市	◎	H14.1.1 現在		H19.1.19 現在
261	城陽市	◎	H13.7.2 現在		H19.3.31 現在
262	久御山町	◎	H11.10.7 現在		H19.3.31 現在
271	八幡市	○	H16.4.1 現在		H19.1.4 現在
272	京田辺市	◎	H14.3.31 現在		H19.4.1 現在
273	井手町	◎	H15.9.30 現在		
274	宇治田原町	◎	H18.12.27 現在		H18.12.27 現在
28-1	木津川市				
281	木津町	○	H16.3.31 現在		—
282	加茂町	○	H14.12.1 現在	合併して木津川市に	—
283	笠置町	◎	H11.6.18 現在		
284	和束町	◎	H12.3.31 現在	H18.3.28現在	
285	精華町	○	H14.4.1 現在		H18.12.28 現在
286	山城町	◎	H18.9.30 現在	合併して木津川市に	—
287	南山城村	◎	H18.6.26 現在		
32-1	亀岡市	○	H13.1.11 現在		H18.12.31 現在
331	京北町	◎	H15.7.1 現在	京都市に編入	—
333	美山町	◎	H11.7.2 現在	合併して南丹市に	—
34-1	南丹市	◎	H18.7.1 現在		
341	園部町	◎	H15.6.30 現在		—
342	八木町	◎	H13.9.30 現在	合併して南丹市に	—
343	丹波町	◎	H10.12.25 現在	合併して京丹波町に	—
344	日吉町	◎	H15.7.1 現在	合併して南丹市に	—
345	瑞穂町	○	H16.12.28 現在		—
346	和知町	◎	H17.3.25 現在	合併して京丹波町に	—
347	京丹波町				H18.9.29 現在
35-1	福知山市	◎	H18.10.2 現在		H19.1.4 現在
351	三和町	◎	H11.12.28 現在	福知山市に編入	—
352	夜久野町	◎	H15.3.31 現在		—
36-1	綾部市	◎	H13.10.11 現在		H18.4.21 現在
41-1	舞鶴市	◎	H13.10.11 現在		H19.3.30 現在
411	大江町	○	H16.4.1 現在	福知山市に編入	—
42-1	宮津市	◎	H12.6.29 現在		H19.4.1 現在
421	加悦町	◎	H13.12.27 現在		—
422	岩滝町	◎	H17.10.12 現在	合併して与謝野町に	—
423	伊根町	◎	H18.1.27 現在		
424	野田川町	○	H16.12.10 現在	合併して与謝野町に	—
425	与謝野町				H19.3.30 現在
431	峰山町	○	H15.4.1 現在		—
432	大宮町	○	H15.6.30 現在		—
441	網野町	◎	H9.6.1 現在		—
442	丹後町	○	H15.3.31 現在	合併して京丹後市に	—
443	弥栄町	○	H15.3.31 現在		—
451	久美浜町	○	H15.3.31 現在		—
46	京丹後市	○	H18.12.31 現在		H18.12.31 現在

※それぞれの媒体ごとに、最新のものを掲載しています。

※冊子形態の例規集の刊行に代えて、ホームページで公開する自治体が増えているため、参考としてホームページで閲覧できる自治体も掲載しました。その後更新されている可能性もあります。

表2 明治期の京都府の法規等をまとめた資料所蔵状況（概略）

	明治	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36																		
京都府布令書		■																																																					
京都府府令達要約																																																							
京都府公報																																																							
京都府布達要約		■																																																					
京都府令達月報																																																							
京都府令達全書																																																							

■ は文献課所蔵分、■ は歴史資料課所蔵分を表す。

## 船屋太兵衛家文書

この度、京都市内の久米家から、京都府の歴史研究に役立てていただきたいと、同家に伝来した古文書の寄贈がありましたのでご紹介します。

久米家は、寛永頃(1624~44)から続く家で、明治中頃までは、四町目(上京区西堀川通下水下)に居住されていました。

屋号は「船屋」、代々の当主は「太兵衛」を名乗り、指物師として、御所等に白木作りの道具類や、屋号「船屋」が示すように、御所等の池で使用される「御船(みふね)」を調進していました。

明治になって天皇が東京へ移り、御所関係の仕事が無くなった後も、しばらくは、テーブルなどを京都府等へ納品していましたが、明治中頃に廃業しました。

江戸時代の文書が大部分を占めるため、文書群名は、「船屋太兵衛家文書」としています。

文書は、738点あり、年代は延宝9(1681)年から明治30(1897)年にわたっています。文書の内容から、①家業の指物師関係(584点)、②同家が居住していた四町目の町関係(22点)、③家関係(132点)に分かれます。

①は、延宝9年から明治30年にわたっています。後桜町天皇・孝明天皇・明治天皇の即位、和宮降嫁、御所、仙洞御所、中宮御所、修学院離宮などで使用される道具等の新調、修復に関わる文書です。道具等は、酒台、箆筒、厨子、戸棚、重箱、水舟(水槽)、竜吐水(ポンプ)、御船などです。文書の内容は、入札を報せる京都代官(幕府領や禁裏御料等を管理)小堀役所の触の写(写真1)、仕様の写、入札の値段書、請書、図(写真2)、製作に関わる形板や木挽師等との金銭受払いの覚などです。この中の御船に関するもの(写真3)は、当時の仕様等を伝える資料として特に貴重です。

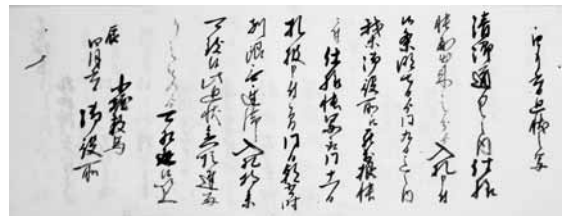
②は、天保8(1837)年から明治20年にわたるもので、豊臣秀吉の京中地子免許状写、徳川家

康の禁制写、同町が属していた町組の堀川組の各町軒役の覚などです。

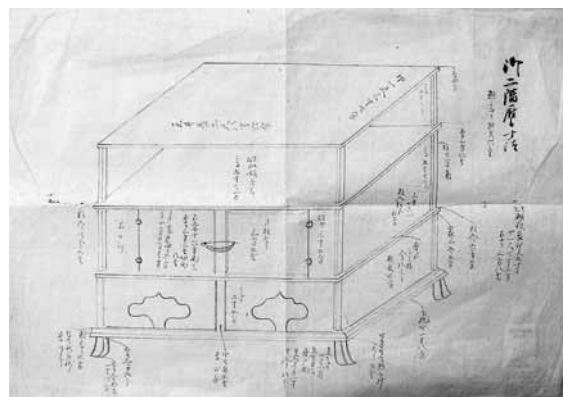
③は、享保2(1717)年から明治21年にわたるもので、御所から拝領した御用挑灯(提灯)や、北野天満宮の樹木の保護に関する文書、京都などの絵図、節用集などの書物、御紋章箱などの現物です。

御所等の道具、御船、京都府の伝統的工芸品の京指物等の調査研究に活用が望まれます。

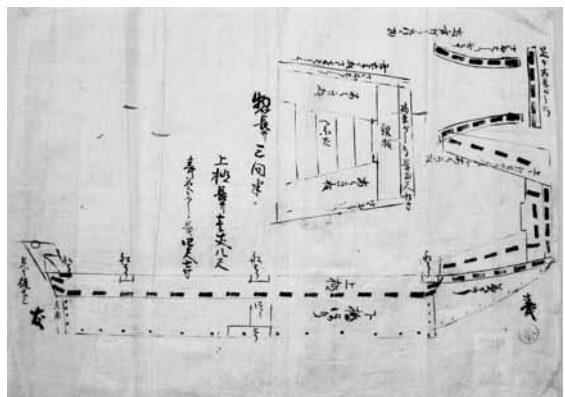
(歴史資料課古文書担当 山田洋一)



▲小堀数馬様御役所入札御廻状之写(部分)(写真1)



▲御二階厨子寸法(写真2)



▲御船絵図(写真3)

# 科研と京都府行政文書

## 1 科学研究費補助金研究

科学研究費補助金研究とは、独創的・先駆的な研究を発展させることを目的とし、文部科学省と日本学術振興会で審査・交付を実施している科学研究費補助金を受けて行われる研究で、通常は、「科研」と略称されています。

現在、平成14(2002)年に重要文化財に指定された約1万5000点の「京都府行政文書」(当館所蔵)を対象に、京都府立大学小林啓治准教授を代表者とし、歴史学・保存科学分野の十数名の研究者の方々が参加する、「京都府行政文書を中心とした近代行政文書についての史料学的研究」という科研が進められています。当館も資料の所蔵機関として協力しています。今回は、この科研について簡単にご紹介したいと思います。

研究の具体的な目的としては、①京都府行政文書の損傷状態の評価方法の検討、②簿冊の形態や劣化状況などのデータベースの作成、③他の文書群との比較による近代行政文書の体系的把握の3点を掲げています。

平成17年度から開始されたこの研究では、これまで、5回の全体研究会と、数度の出張調査、さらに大学院生を中心としたサンプル的な資料調査を行っています。8月には公開シンポジウムを開催します。そして、その成果を来年3月を目途に取りまとめる予定です。(8頁参照)

## 2 この研究でわかってきたこと

ここでは、これまでの科研で検討してきたことの一部をご紹介します。

### ○郡役所文書の整理過程

大正15(1926)年に府庁の出先機関としての性格もあった、府内18箇所の郡役所が廃止されます。その後、昭和4年にかけて、それぞれの庁舎に残されていた行政文書が整理され、必要分が府庁に受け入れられます。近代行政組織の廃止にともなう文書整理という事例を分析していく中で、資料保存の歴史の一端を明らかにしたいと考えています。

### ○文書管理規程の変遷

文書管理規程とは、行政組織がどのように文書を整理保存するかを定めたもので、明治期については、「京都府文書事務基本史料集成(1)～(4)」(『資料館紀要』(第20～23号))にまとめ、様々な形でご利用いただいています。この機会に大正・昭和期についても分析を進めています。文書管理の基本を押さえるとともに、京都府行政文書の利用・管理についての基本的な情報を充実させるものです。

この2点については、当館発行の『文書解題』(平成5年刊行)に部分的に紹介していますが、今回、再度調査・整理するものです。

### ○京都府罫紙についての検討

手書きが主流であった時代の行政文書の多くは、職員が日常的に使用する罫紙で構成されています。これまでの調査で、起案用・回議用・記録用など用途に応じて罫紙の色を切り替えていること、和文タイプに対応した薄手の和紙の使用など記録用具に即した形での用紙の細分化、行政機構の複雑化に伴う特殊な用紙の登場などがわかってきました。当時の文書作成のあり方について分析を深めたいと考えています。

この他にも、山口県・宮崎県・滋賀県など、比較的行政文書が良く残されているとされる府県との比較や、資料のpH値の測定、劣化状態の概要調査などを進めています。いずれも、これまで関係者の間では何となく共有されていたイメージを、実証的に検討している点にこの調査の特徴があります。

### おわりに

この科研の成果は、8月のシンポジウム、来年刊行の報告書で公表します。

近代の文書資料に関する研究は始まったばかりです。今回の成果が、京都府内のみならず全国の近代文書資料の保存・活用にいささかでも資することができるよう、科研グループのみなさんと協力して、調査を進めて行きたいと考えております。

(歴史資料課行政文書担当 福島幸宏)



## 最近の収集資料から(平成19年3月～5月)



### ◆図書資料

〈京都〉

京都文化の伝播と地域社会 源城政好著 思文閣出版 2006 12, 380, 14p 寄贈

京都壬生八木家の歴史 1 八木家と新選組 八木喜久男著 角川学芸出版 角川書店(発売) 2006 254p 寄贈

同志社女子大学 寮の100年 同志社女子大学史料室編 同志社女子大学 2006 341p 寄贈

天保の鋒 財団法人設立四十周年記念 函谷銚保存会編刊 2006 157p 寄贈

日本の建築と庭 西澤文隆実測図集 西澤文隆[作] 中央公論美術出版 2006 1冊

裏松固禪「院宮及私第図」の研究 藤田勝也編 中央公論美術出版 2007 322p 寄贈

菊乃井 風花雪月 村田吉弘著 講談社インターナショナル 2006 190p 寄贈

京都府ことば辞典 堀井令以知編著 おうふう 2006 301p

〈人文〉

日本図書館史概説 岩猿敏生著 日外アソシエーツ 2007 248p

江戸の出版事情 内田啓一著 青幻舎 2007 119p

学会名鑑 2007～9年版 日本学術協力財団編刊 2007 7, 1145p

日本文学史蹟大辞典 1～4 地図編、地名解説編、絵図編上・下 井上辰雄[ほか]監修 遊子館 2001 4冊

平安仏教と末法思想 速水侑著 吉川弘文館 2006 12, 345, 12p

近世国家解体過程の研究 幕藩制と明治維新前・後編 藤野保著 吉川弘文館 2006 2冊

平安人名辞典 康平三年(上) 槇野廣造編 和泉書院 2007 5, 529p 寄贈

日本六十余州図 寛永十年巡見使国絵図 川村博忠編 柏書房 2002 71枚

大正期新興美術資料集成 五十殿利治著 国書刊行会 2006 580, 58p

柳澤孝仏教絵画史論集 柳澤孝著 中央公論美術出版 2006 656p 図版24p

黄土高原の村／満蒙開拓の村 後藤敏夫写真集 後藤敏夫著 朝日新聞社(発売) 2006 107p

光 寫真画集 復刻 丹平写真倶楽部著 国書刊行会 2006 143p

\*伊能大図総覧 上・下 渡辺一郎監修 日本地図センター編著 河出書房新社 2006 2冊 寄贈

\*ザ・プライスコレクション 辻惟雄監修 小学館 2006 463p 寄贈

\*レオナルド・ダ・ヴィンチ素描集 第1～3巻 ケネス・クラークほか解説 朝倉書店 2002 3冊 寄贈

\*禅林墨蹟 復刻版 田山方南編 思文閣出版 1981 6冊 寄贈

\*印の資料は、財団法人京都高等学校から御寄贈いただきました。

〈官庁〉

京都府統計書 平成17年(2005年) 京都府総務部統計課編刊 2007 396p

介護保険制度の実施状況 平成17年度 京都府保健福祉部高齢・保険総括室介護保険推進室[編]刊 2006 82p

京都市の人口 平成17年国勢調査結果 京都市総合企画局情報化推進室情報統計課編刊 2007 355p 寄贈

環境白書資料集 平成18年度版 舞鶴市市民環境部環境対策室生活環境課[編]刊 2007 71p 寄贈

舞鶴の環境 環境白書 平成18年度版 舞鶴市市民環境部環境対策室生活環境課[編]刊 2007 29p 寄贈

国家公務員給与等実態調査報告書 平成18年 人事院給与局給与第一課編刊 2006 52p 寄贈

本格的な展開期を迎えたわが国のM&A活動  
M&A研究会報告 内閣府経済社会総合研究所  
2006 154p 寄贈

企業における若年者雇用実態調査報告 平成17年  
厚生労働省大臣官房統計情報部編刊 2005  
97p 寄贈

里地里山保全再生モデル事業調査報告書 京都府  
北部地域 平成17年度 国立公園協会[編]刊  
2006 118, 66p 寄贈

農林水産物輸入実績 2004年～2005年 農林水産省  
大臣官房国際部国際政策課[編]刊 [2007]  
198p 寄贈

◆行政文書(今年度移管を受けた永年文書)  
昭和55年度完結分 1222冊  
(学術研究目的以外の閲覧については、本庁の各担当にご相談下さい。)

◆文書資料(新しく公開する資料)  
田辺藩牧野家分限帳 田辺(舞鶴)藩牧野家の宝暦年間の分限帳。藩士420名の名前、職分、石高が記されている。1点。

木崎家文書 京都府職員の辞令類。明治5～21年。51点。寄贈。

船屋太兵衛家文書 指物師船屋太兵衛家に伝来した文書。御所から発注される筆筒・戸棚などの道具類、池に浮かべる御船(みふね)の仕様書等がある。ほかに四町目(上京区西堀川通下水下)の町文書等がある。延宝9(1681)～明治30(1897)年。738点。寄贈。(詳細は当号4頁「寄贈資料紹介」を参照)

杉浦家文書 呉服商「大黒屋」杉浦家に関する文書。江戸店の火事後の処理・儉約等、商売の

ための覚2冊。旅日記(伊勢方面、大坂・兵庫・宮津方面)2冊ほか。寛政5(1793)～大正11年。7点。

園部領分高付(松本家文書) 知野部村(現京丹波町下山)の松本家に伝来した園部落領の村高帳。近世後期(天保頃)。1点。マイクロ収集。

<補足訂正> 総合資料館だよりNo. 151  
「幕末京都の事件と記録— 記録の中の"新選組"その2」記事中の8月8日の項の解説中  
「訪問したのが伊東の腹心の三木と篠原であった」→「訪問したのが伊東の実弟三木三郎(鈴木三樹三郎)と腹心篠原泰之進であった」

### 展覧会開催のお知らせ

7月から年内にかけて、次のとおり展覧会を開催する予定です。会場は、いずれも2階展示室で、入場無料です。是非ご観覧ください。

□収蔵品展  
普段ご覧いただく機会が少ない館の収蔵品を展示公開します。

会期 7月14日(土)～8月26日(日)  
(7月16日(祝)、8月8日(水)は休館)

- 内容
- ◇寄贈資料紹介(図書資料)
    - ・津田道子氏旧蔵「地歌・箏曲資料」
    - ・奥田輝一郎氏旧蔵「創作版画資料」
  - ◇新収蔵古文書  
「船屋太兵衛家文書」ほか(古文書)
  - ◇「蚕業と京都府」(行政文書)
  - ◇「子ども」(写真資料)
  - ◇「児童文学・児童図書」(近代文学資料)

□国宝指定10周年記念 第22回東寺百合文書展  
「日本史のなかの百合文書」  
会期 9月29日(土)～10月28日(日)【予定】  
(10月8日(祝)、10日(水)は休館)

## 第6回古文書解読講座のご案内

下表のとおり開催する予定です。講義内容、申込方法等の詳細は、後日、ポスター、チラシ、ホームページ、メールマガジン等でお知らせしますので、御確認の上、御応募ください。

講座名	初心者Aコース	初心者Bコース	一般Aコース	一般Bコース
対象者	初心者		ある程度古文書が読める方	
月日	19年11月6日～9日	19年11月6日、13日、15日、16日	19年11月27日～30日	19年12月4日～7日
定員	30名	30名	80名	80名
内容	講演、古文書の初歩的解読(講義・実習)		中世文書・近世文書・近代文書解読	

※いずれも午後1時～3時30分(受付12時30分～)、総合資料館2階会議室にて

※受講料無料(但し、テキスト代2,000円と送料が必要)

◎受付期間 平成19年9月1日(土)～18日(火)(往復はがきで申込、応募多数の場合は抽選)

## 科研 公開シンポジウムのご案内

### 未来への遺産

—重要文化財「京都府行政文書」の保存と活用—

◇日時 8月26日(日)

午前10時～午後5時

◇場所 キャンパスプラザ京都 第1講義室  
(下京区西洞院通塩小路下ル、JR京都駅すぐ)

※参加無料・事前申込不要

※問い合わせ先

当館歴史資料課 TEL 075-723-4836

※科研公開シンポジウム案内ホームページ

[http://www.geocities.jp/kyoto\\_archives/](http://www.geocities.jp/kyoto_archives/)

## 友の会事務局から

◎ 平成19年度の友の会会員は、6月5日現在で320人です。

性別	継続	新規	計
男性	159人(49.7%)	37人(11.6%)	196人(61.3%)
女性	117人(36.6%)	7人(2.2%)	124人(38.8%)
計	276人(86.3%)	44人(13.8%)	320人(100%)

◎ 平成19年度の役員会を、5月22日(火)に開催しました。この役員会で、平成19年度の事業計画が、次のとおり決定されました。

- ・現地講座(春期)
- ・見学会(秋期)
- ・総合資料館府民講座(総合資料館と共催)
- ・「東寺百合文書展」及び企画展の列品解説
- ・古文書解読講座の案内及びテキスト送料の補助
- ・「総合資料館だより」の頒布(年4回)
- ・京都文化博物館及び池大雅美術館の入館料割引

◎ 5月29日(火)、145名の会員の皆さんの参加を得て、青蓮院(京都市東



山区)において現地講座を実施しました。

宸殿で門主様からお話をいただいた後、本堂や庭園を自由見学しました。庭園の青葉も眩しく、清々しい時間を過ごしました。

◎ 随時入会の申込みを受け付けています。

問合せ先：友の会事務局

(当館庶務課内 TEL 075-723-4831)

## 日誌(平成19年3月～5月)

2. 17(土)～ 3. 25(日) 企画展「先人達の京都研究」開催
3. 1(木) 府民講座(第40回)
3. 9(金) 府民講座(第41回)
3. 9(金) 第186回古文書相談
3. 15(木) 府民講座(第42回)
5. 15(火)～ 5. 18(金) ICA/SPA運営委員会
5. 21(月)～ 6. 1(金) 所蔵資料点検・整理等のため臨時休館
5. 29(火) 友の会現地講座(青蓮院)

## 利用案内

休館日 祝日法に規定する休日、  
毎月第2水曜日、資料整理期、  
年末年始(12月28日～1月4日)

### 【7月～9月の休館日】

7月11日(水)、7月16日(祝)、8月8日(水)、  
9月12日(水)、9月17日(祝)、9月24日(祝)

開館時間 午前9時～午後4時30分

交通 京都市地下鉄烏丸線・北山駅下車  
市バス④ ⑧ 北山駅前下車  
京都バス④⑤ ⑥ 前萩町下車

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/>

\*総合資料館メールマガジンにご登録ください

発行 京都市立総合資料館  
京都府立総合資料館友の会(振替 01030-2-11991)

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1の4  
TEL(075)723-4831 FAX(075)791-9466

○本誌に関するご意見・ご感想などを当館庶務課までお寄せください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています